

第62回

日本伝統工芸富山展

金工 漆芸 木竹工 陶芸 染織 人形 諸工芸

令和5年 5月26日(金) ~ 6月11日(日)

午前9時30分~午後5時(入場は4時30分まで) 5月26日(金)は午前10時30分から〈月曜休館〉



日本工芸会賞 乾漆盛器「旋」 駒井 宏至 作



高岡市美術館

観覧料 一般800円(640円)／シニア640円／大学生500円(400円)／高校生以下 無料

○()内 団体料金 20名以上

○シニアは65歳以上

○身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育の各手帳所持者及び付添いの方(1名)は半額です。手帳をお持ちください。

(公財)高岡市民文化振興事業団

主催 高岡市美術館／(公社)日本工芸会富山支部／(公社)日本工芸会／北日本新聞社

後援 文化庁／富山県／富山県教育委員会／高岡市／高岡市教育委員会

NHK 富山放送局／北日本放送／富山テレビ放送／チューリップテレビ

富山エフエム放送／とやまソフトセンター

高岡市美術館 〒933-0056 富山県高岡市中川1-1-30 TEL 0766-20-1177

URL <https://www.e-tam.info/>

趣 旨

伝統工芸は単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。受け継いだ優れた技術を一層錬磨すると共に、現代に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。

公益社団法人日本工芸会富山支部は1961年に北陸支部より独立・誕生し、今年で創立62周年を迎えます。

第62回 日本伝統工芸富山展は、金工・漆芸・木竹工・陶芸・染織・人形・諸工芸、計7部門の公募作品・受賞作品に加え、重要無形文化財保持者（人間国宝）を含む全国著名作家の作品を一堂に展示します。

審査員

中川 衛	重要無形文化財保持者[金工] (公社)日本工芸会 参与
中田 一於	(公社)日本工芸会 常任理事[陶芸]
寺尾 健一	工芸史家
村上 隆	高岡市美術館 館長
林 暁	(公社)日本工芸会理事[漆芸] (公社)日本工芸会富山支部幹事長

順不同 敬称略

開会式

5月26日(金) 午前10時～
エントランスホール

第62回日本伝統工芸 富山展研究会

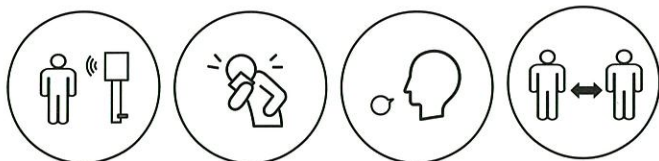
5月27日(土) 午後3時～5時
地階 ビトークホール
出品者・会員

会期中同時開催 (公社)日本工芸会 富山支部会員小品展 地階ミュージアムショップ

列品解説 各々 午後2時～3時

5月27日(土)	金 工 (大澤光民)
	漆 芸 (しんたにひとみ)
28日(日)	木竹工 (米道正幸)
	陶 芸 (金田比陶美)
6月3日(土)	染 織 (大澤浩美)
	諸工芸 (長岡達雄)
4日(日)	金 工 (般若保)
	漆 芸 (寺田博)
10日(土)	木竹工 (林哲三)
	陶 芸 (六渡心六)
11日(日)	染 織 (山下郁子)
	諸工芸 (長岡由美子)

ご来館に際しての感染防止対策のためのお願い



来館時の
消毒と検温

咳エチケット

ちいさな声で

密集を避ける

開館状況や新型コロナウイルス感染症防止対策などの最新の情報は、ご来館前に高岡市美術館ホームページなどでご確認くださいことをお勧めいたします。



高岡市美術館HP

一本展の公募について

出展は未発表の作品に限ります。詳しくは公募要項をご覧ください。要項は、高岡市美術館内 日本伝統工芸富山展事務局よりお取り寄せいただくか、下記より富山支部公式 Facebook でもご覧いただくことができます。作品搬入に先立ち、事前の出展申し込みが必要です。



日本工芸会富山支部
公式 Facebook ページ